

INFORMATION

No.2025.31
2025年11月

新規実施項目のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
この度、新たな検査項目の受託開始について、下記のとおりご案内いたします。
健康と医療の未来に貢献すべく、より良い検査サービスのご提供に努めてまいります。
謹白

記

■変更日 2025年12月1日（月）ご依頼分より

■対象項目

検査項目一覧 掲載項目	項目コード	検査項目
未掲載	5332	メタネフリン2分画CRE換算値

※詳細につきましては、次頁をご参照ください。



一般社団法人

福岡市医師会臨床検査センター

〒814-0001 福岡市早良区百道浜1丁目6番9号 TEL(092)852-1506 FAX(092)852-1511

●メタネフリン2分画CRE換算値) (メタネフリン・ノルメタネフリン分画 (クレアチニン換算値)

2025年6月13日、日本内分泌学会より「褐色細胞腫・パラガングリオーマ診療ガイドライン2025」が発出されました。この中で、随時尿を用いたメタネフリン2分画(メタネフリン・ノルメタネフリン分画)について2018年版から追記がされており、バイオマーカーとしての診断能が高いこと、早朝第一尿であれば随時尿のクレアチニン補正值でも24時間蓄尿と遜色ないことが明記されました。

▼検査要項

検査項目名	メタネフリン2分画CRE換算値		
項目コード	親 : 5332 メタネフリン2分画CRE換算値 子1 : 5333 メタネフリン総 子2 : 5334 メタネフリン 子3 : 5335 ノルメタネフリン 子4 : 5336 メタネフリン総CRE換算値 子5 : 5337 メタネフリンCRE換算値 子6 : 5338 ノルメタネフリンCRE換算値 ※ システム連携の際は、単独 : 5339 クレアチニン(換算用)が必要です。		
検体量	随時尿 2.0 mL		
容器番号	⑩ 尿用スピッツ		
保存方法	冷蔵		
所要日数	5~7日		
検査方法	LC/MS/MS		
基準値(単位)	メタネフリン2分画CRE換算値 子1 : メタネフリン総 設定なし (mg/L) 子2 : メタネフリン 設定なし (mg/L) 子3 : ノルメタネフリン 設定なし (mg/L) 子4 : メタネフリン総CRE換算値 設定なし ($\mu\text{g}/\text{mg} \cdot \text{CRE}$) 子5 : メタネフリンCRE換算値 0.04~0.22 ($\mu\text{g}/\text{mg} \cdot \text{CRE}$) 子6 : ノルメタネフリンCRE換算値 M: 0.09~0.32 ($\mu\text{g}/\text{mg} \cdot \text{CRE}$) F: 0.13~0.41 ($\mu\text{g}/\text{mg} \cdot \text{CRE}$) ※ 単独 クレアチニン(換算用) 設定なし (mg/dL)		
桁数	メタネフリン2分画CRE換算値: 有効7桁、整数5桁、小数2桁 クレアチニン(換算用): 有効7桁、整数5桁、小数1桁		
検査実施料/半臓料	220点/生化学的検査(Ⅱ)		
備考	メタネフリン2分画(メタネフリン・ノルメタネフリン分画)をクレアチニン換算する項目コードです。 褐色細胞腫・パラガングリオーマのスクリーニングにおける本検査のカットオフは「正常上限の3倍以上の増加」とすることが「褐色細胞腫・パラガングリオーマ診療ガイドライン2025」で推奨されています。 本検査における「基準値」の範囲とカットオフが異なる点にご注意ください。		

※ 1